

しろやま



病院理念

城山病院は患者さまのために存在します

2024年7月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

編集・発行 情報システム課

Vol. 85



SPECIAL

ロボット手術による鼠径ヘルニア治療



ロボット手術センター センター長
消化器・乳腺センター センター長
ヘルニアセンター
新田 敏勝 医師

城山病院では2022年12月に最新の手術支援ロボット「ダヴィンチXi」を導入し、大腸がんや胃がん、前立腺がん、鼠径ヘルニアなど150例の手術を行ってきました。今回は鼠径ヘルニアの治療について新田医師に話を聞きました。

鼠径部の腹壁の筋膜が弱くなっていることにより、腸の一部が筋膜の間から皮膚の下に出てくる疾患で、治療は手術になります。従来は腹腔鏡下手術で治療を行っていましたが、ダヴィンチXi導入後はロボット手術も積極的に行い、その症例数が増えています。

以前にもお話ししましたが、ロボット支援手術はこれまでの内視鏡下手術よりも、体内に挿入した鉗子の操作の自由度が劇的に増して、良好な視野のもとで鉗子を操作することができます。そのため、手術時の出血量が極端に少なくなり、術後の痛みも少なく、社会復帰が早くなります。また、合併症の可能性が減るため、高齢者の方にも安心して手術を受けていただけます。

さらには、ロボット技術の進化と同時に、手術で使用する様々な医療用素材や器具も開発されています。例えば、ヘルニアの再発率を下げるために「メッシュ」と呼ばれる人工膜を使って修復を行います。この「メッシュ」の素材や、それを固定する器具なども最新のものを使用できるため、術後の痛みや創部の変形が少なくなっています。

当センターでは鼠径ヘルニアの他にも、腹壁癒痕ヘルニア(手術痕の化膿などで縫合した筋膜が離開し、内臓が飛び出すヘルニア)や臍ヘルニアなども腹腔鏡下手術で行っています。

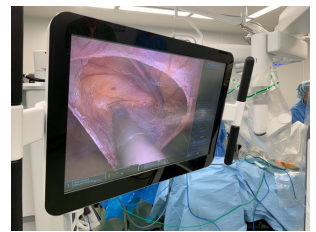
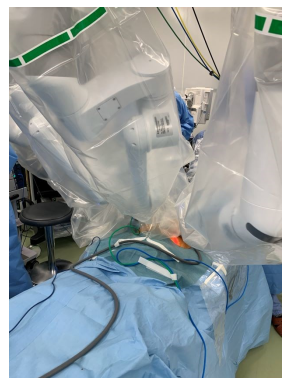
近隣の医療機関や開業医の先生方からの紹介も増えており、腹腔鏡下手術だけでなくロボット手術がヘルニア分野でもスタンダードになりつつあります。

その証として、現在は鼠径ヘルニアでのロボット手術は保険診療ではなく自由診療(医療費控除対象)ですが、近い将来には保険が適応される予定です。

ヘルニアでお困りの方はヘルニアセンター(外来)にお越しください。

※ここに書いたヘルニアは椎間板ヘルニアなどの腰痛の原因となるものではありません。椎間板ヘルニアは、当院の整形外科での対応となり、そちらを紹介させていただいています。

～手術の様子～



ヘルニアセンターよりお知らせ

2024年6月より

胃がんに対しての「da Vinci」での手術が保険適用になり、当院でも実施出来ます。

数字で見る城山病院の強みを更新しました

数字で見る城山病院の強みの2023年度を更新しました。2023年度は、入院患者数・ベッド稼働率・救急件数が前年度と比べ件数が増加しました。

また日々の診療に加え、ダヴィンチによるロボット支援手術も100例を達成し、最新の治療方法にも取り組んでいます。これからも患者様が安心・信頼して受診でき、最新の医療を受けられる病院を目指していきます。

	2023年度	2022年度
入院患者数	100,756人	91,883人
ベッド稼働	92.1%	84.2%
外来患者総数	125,764人	134,283人
年間手術件数	3,284件	3,931件
年間救急件数	4,946件	4,110件

詳しくは、
城山病院ホームページをご覧ください。



病院機能評価の認定を受けました

当院では公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」を受審し、2024年4月に機能種別版評価項目3rdG:Ver3.0の認定を受けました。

病院機能評価とは、(公益財団法人)日本医療機能評価機構が、第三者機関の立場から病院の質と機能を評価するものです。

今回は2回目の認定となります。「城山病院は患者さまのために存在します」の理念のもと、より安全で質の高い医療サービスを提供すべく、日々努力してまいります。



(1)主たる機能：一般病院2



(2)副機能：リハビリテーション病院

がんサロン 白鳥の会を開催しました

第26回の白鳥の会は、初めて医師に講演をお願いしました。今回のテーマは、「がんという病気について」でした。この日は、午後から大雨であいにくの天気でした。外来の患者様の参加はなかったのですが、入院中のがん患者様が参加して下さいました。

跡地先生より、がんの予防やなぜがんになるのか、どの年齢にどういったがんが多いのか、年齢的にがんの進行が速い・遅いということはあるのかなど、具体的にわかりやすく説明して頂きました。

がんで手術をした患者様は、会社を経営されていて、予防に関してはみんなに伝えていきたいと話されていました。また参加された看護学生さんは、学校では学ぶことができないことを知ることができたと話されていました。

今後も、色んな職種から色んな情報を提供できるように、また患者さんやご家族の交流の場所として、がんサロンを継続していきたいと思えます。



次回は、2024年7月23日(火曜日)
テーマ:知っておこう！社会資源 ～がんとお金～

しろやまハイブリット研修会のお知らせ (医療従事者向け)

血液ガス4STEP ～今日からできる分析方法～

数字が多く苦手意識のある人にも簡単な分析方法を説明します。血液ガス分析とは、血液ガス4STEP、練習問題事例を通して退院支援のポイントをお伝えします。

日程:2024年7月25日(木) 17:30~18:15
ミーティングID:898 7862 5027
パスコード:968893

ZOOM参加
QRコード



管理栄養士の病棟配置と診療報酬改定 ～病棟配置のメリット・デメリット～

令和6年度の診療報酬改定に向け、管理栄養士の病棟配置を実施しました。病棟配置したことで業務改善につながったこと、現状困っていることについてお話しします。

日程:2024年8月2日(金) 17:30~18:15
ミーティングID:868 1574 5776
パスコード:192631

ZOOM参加
QRコード

